

大学再編攻

反中教審



岡大における管理強化攻撃

この十年の歩み

ここ岡山大学も全国大学は、自衛隊三軒屋基地を使った構図を暴露したものと情勢の外にあるものではなし、行なわれた、この農

い。文部省の中教審路線貫徹、産軍学協同体制により、大学当

徹、4・20通達実質化攻撃、局は、「産軍学協同体制」を

が、岡大の帝国主義的再編をより強固なものとしたと

として、展開されてきてい

いまや、岡大当局の基盤は、産業界との協力関係、学内登場を許容する。大学

警察権力との連絡関係の中、当局の姿勢が、警察権力と

に強固に位置付けられておの密な連絡関係と表裏一体

り、岡大は「産軍学協同体制」をなすものとして明らかと

制」に組み込まれた大学となつてい

してあるといつてよいだろ

「産軍学協同体制」が、岡大において最も顕著な形

をもつて露呈したものとし学運営の質をも規定してき

て、76年・78年の「農業空

中散布」があるだろう。農

78年1月1日付で学内に

学部付属半田山演習林への突如道路交通法を導入した、

農業空中散布は、大気汚染いわゆる学内交通規制は、

による松枯れを、松くい虫

大学当局の学生存在を無視

え、住民、学生の反対の声

運営の質を露呈し、78年5

を無視し強行された。農業

・1学長告示は、文部省の

殺中剤スミチオンは住反化

路線に追従、文部省の直接

学に依頼し、ヘリポートに

支配下での大学運営とい

お知らせ

ある3月26日の新東国学院大学における事件に際し、本学学生等が逮捕された。

このことについて、次のような説明が示された。

昭和55年5月2日

岡山大学

告示

ある3月26日、本学学生及び学生が新東国学院大学における不法行為により逮捕・起訴された。

大学は、かねてから不法行為を禁止してまいり、かかるような事態が発生したことは誠に遺憾である。

今後、目的のいかんを問はず、かかる不法行為を行ないよう意図する者は、学内に於いては、犯罪行為をそのとし、あるいは社会的秩序の乱れによる被害を及ぼすような行為は厳しく禁じられることとする。

昭和55年5月1日

岡大 小坂 淳夫

攻撃の現段階

現在において、岡大の再編はすでに最終段階にきつており、再編の中心は寮・

BOX問題と廃寮攻撃

管理強化の最終段階

サークルといった学生団体の特ともいえる所への解体攻撃になってきている。

まず、寮に対する攻撃は、昨年度秋会計検査院の岡大導入、今年三月にはこの会計検査院の指摘する国庫超

計画負担を理由にした廃寮四条件付新寮建設強行宣言と

いった形で行なわれてきた。

これはこれまでの当局の「四条件付でなければ新寮は建設できない。」などとい

った攻撃から、現在ではより積極的、岡大再編の完

成をめざして行なわれているのである。

そして、岡大当局はその後今年度に入り、五月には

戦士を含む、5名の岡大の日本帝国主義の危機的状況が、このことに関し、岡大をうけ、岡大の帝国主義的当局は、文部省に出向いて「陳謝」したばかりでなく、に完結せんとしてきている。

4・20通達とは同内容の告示を、5・1学長告示と

して出す有様なのである。岡大当局は、「岡山大学整備計画」を策定、薬学部新

大学当局は、昨年6月、サークルBOXの解体計画を、翌年3月には、学寮の解体計画を、学生の前に一方の突きつけてきたのである。

資料 4・20通達

一、授業妨害その他の学内における暴力行為や学内施設の本来的用途・目的を阻害する行為を許すことのないよう、全学体制を整え、正常な秩序を維持するため、適切な処置をとる。

二、学内掲示等(立看板、ビラの配布等を含む)に

ついては、学内規制に従い管理の徹底を図ること。特に犯罪行為をそのかし、厳正適切な措置を迅速に講ずること。

四、学園の秩序維持のためには必要な警察当局との連絡については、一大学の維持に際しては、昭和四十四年四月二十一日文大生第二百六十七号)に留意し、遺憾なきを期すること。

強まっている。

まずサークルへの攻撃は、昨年度現BOXをつぶし、現BOXより極端に狭いとして使用制限つきの新BOXを学生に強制するといった形で行なわれてきた。

そして、今年度に入り、岡大当局は、新BOXを建設用地周辺住民の騒音を理由とした新BOX建設反対の声を利用して、たとえ「夜八時以降はBOXから外へ音を出させない」とか、「夜十時以降はBOXは使用させない」などといった形でサークルの活動を規制を行ってきた。この規制も、その過程で「当局としては、学生にサークル活動を自由にするつもりはない」といふなど、サークル活動規制強化を宣言するまでになっている。

このようなサークル活動の規制は、まずサークル活動を通じての学生の団結を崩壊し、学生管理を強化しようとするものであり、廃寮攻撃と同じく学内治安管理体制の確立の一環であると言えよう。

しかもまた当局は、学生のサークル活動規制を強行する一方で、大学周辺の住民に対しては、住民との交渉を一方的に打ち切り「住民がどうなるかと大学の知ったことではない」といふ放つなど、大学周辺の住民を犠牲にしてまでも、岡大再編を強行しようとしている。

このように、現在では当局的に、サークル、寮への攻撃は、サークル、寮への攻撃

闘争の現段階

岡大における大学再編は、筑波化に反対する闘争は、一つには四条件付新寮建設に反対する寮闘争として、

以上が岡大の大学再編に

対する闘争の発展段階である。しかし、今後はBOX

闘争と寮闘争の共闘のみならず、大学再編に反対する闘争は、まさに現在急速に進行する軍国主義化に反対する闘争の一環として、全学学友をまきこむ闘争へと発展させなければならぬ。

編集部員・営業部員募集

学部・学年
男女問わず
南BOX棟2F
新聞会BOXまで